

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成24年6月14日 (2012.6.14)

【公開番号】特開2010-253136(P2010-253136A)  
 【公開日】平成22年11月11日 (2010.11.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-045  
 【出願番号】特願2009-108702(P2009-108702)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月27日 (2012.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技進行状態を識別する遊技進行状態識別手段と、  
 振動を検出する振動検出手段と、  
 を含む遊技機であって、

前記振動検出手段による振動の検出に基づいて、所定の基準値から離れる値に振動判定情報を更新し、前記振動判定情報が前記基準値と異なる値である場合における前記振動検出手段による振動の非検出に基づいて、前記基準値に近づく値に前記振動判定情報を更新する振動判定情報更新手段と、

前記振動判定情報が前記振動判定情報更新手段における更新により前記基準値と所定の閾値との間の範囲と異なる値となった場合に所定の振動状態と判定する振動判定手段と、  
 を含み、

前記振動判定情報更新手段は、前記遊技進行状態識別手段による遊技進行状態の識別に基づいて、前記振動検出手段による振動の検出に基づく前記振動判定情報の更新量を異ならせることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技者にとって遊技媒体の獲得に関して通常遊技状態より有利な利益遊技状態への状態移行を遊技媒体の進行経路の機構的な振り分けにより抽選する振分抽選手段と、

前記振分抽選手段へ進入した遊技媒体を前記機構的な振り分け前に検出する進入媒体検出手段と、  
を備え、

前記遊技進行状態識別手段は、前記進入媒体検出手段による遊技媒体の検出に基づいて、前記遊技進行状態が前記振分抽選手段に遊技媒体が滞在している振分抽選状態であるか前記振分抽選状態と異なる非振分抽選状態であるかを識別し、

前記振動判定情報更新手段における前記振動判定情報の前記振分抽選状態での前記振動検出手段による振動の検出に基づく更新量は、前記振動判定情報の前記非振分抽選状態での前記振動検出手段による振動の検出に基づく更新量より大きい、  
請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記振分抽選手段による抽選結果を検知する抽選結果検知手段を備え、

前記遊技進行状態識別手段は、前記振分抽選状態の検知後における前記抽選結果検出手段による抽選結果の検知に基づいて、前記非振分抽選状態への復帰と判断する、請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記振分抽選手段から放出される遊技媒体を検出する放出媒体検出手段を備え、

前記遊技進行状態識別手段は、前記振分抽選状態の検知後における前記進入媒体検出手段及び前記放出媒体検出手段による遊技媒体の検出に基づいて、前記振分抽選手段に滞在している遊技媒体が無いと判定された場合に前記非振分抽選状態への復帰と判断する、請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記遊技進行状態識別手段は、前記振分抽選状態の検知後からの所定の一定時間の経過に基づいて、前記非振分抽選状態への復帰と判断する、請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明の遊技機では、遊技進行状態に応じた精度で振動を検知する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

上記の課題を解決するために、本発明の遊技機は、

遊技進行状態を識別する遊技進行状態識別手段と、

振動を検出する振動検出手段と、

を含む遊技機であって、

前記振動検出手段による振動の検出に基づいて、所定の基準値から離れる値に振動判定情報を更新し、前記振動判定情報が前記基準値と異なる値である場合における前記振動検出手段による振動の非検出に基づいて、前記基準値に近づく値に前記振動判定情報を更新する振動判定情報更新手段と、

前記振動判定情報が前記振動判定情報更新手段における更新により前記基準値と所定の閾値との間の範囲と異なる値となった場合に所定の振動状態と判定する振動判定手段と、を含み、

前記振動判定情報更新手段は、前記遊技進行状態識別手段による遊技進行状態の識別に基づいて、前記振動検出手段による振動の検出に基づく前記振動判定情報の更新量を異ならせることを特徴としている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明に係る遊技機であれば、遊技進行状態に応じた精度で振動を検知できる。